

No. 2499



## 教育ルネサンス

学級づくり 2

# オンラインで討論や自己紹介

「3密」を避けながらクラスを一つにするには、オンラインでの取り組みも有効だ。「みんなはどんな5年生になりたいですか?」

4月27日、熊本市立帯山西小学校5年1組の学級会。担任の佐々木教諭(25)はウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使い、パソコンの画面越しに39人の児童に問い

ズームを使った学級会で子供たちに問いかける佐々木教諭(4月27日) 帯山西小提供



が不安だった  
が、納得がいく

一方、多くの地域では、オ

かけた。

子供たちは自宅から、「やさしい」「頼れる」「お手本」

「先生に言われる前にする」の四つのキーワードに絞って

検討。「私は『頼れる』がいいと思います。なぜならば……」

などと理由を示しながら意見を発表した。

最後は多数決で「お手本」が選ばれ、学級目標に盛り込まれることに。

「お手本は他の三つの意味も含む」との意見が

決め手になった。佐々木教諭

は「新クラスで子供たちとの関係ができておらず不安だった

が、納得がいく

一方、多くの地域では、オ

結論になった」と評価する。

熊本市は小中学校でのパソコン活用に積極的だ。帯山西小では、学級づくりの土台となる「学校づくり」にもズームを利用している。

音楽委員会が6月26日に開いた今年度初の全校音楽集会是、3密回避のため、いつも

の体育館ではなく、各教室をズームでつないで開催した。

委員長の6年井上舞さん(11)は「みんなでわくわくできた

のではないかと振り返る。学校の完全再開から約1か

月。平野修校長(58)は「安心して登校できるよう人間関係

づくりを一番に考え、スムーズなスタートが切れた」と話

す。

一方、多くの地域では、オ

一方、多くの地域では、オ

ンラインによる学級づくりは手探りが続く。

横浜市立高田中学校は「まずは先生たちから」と、ウェブ会議システムを朝の教職員

ミーティングで使った効用を実感してから、学級づくりに

も取り入れることにした。

しかし、校内で調査したところ、約300人の生徒の21

%が自宅で使える端末を持っていないことがわかった。親

分登校初日の6月1日には、3年生の3学級が3密回避のため、それぞれ2教室に分かれた生徒たちをオンライン

でつなぎ、1人ずつ自己紹介した。50分2コマを使い、各自がひと言ずつ、部活や、

どんなクラスにしたいかを話し、互いへの理解を深めた。

「画面越し、しかもマスクをしており、伝わるか不安だったが、生徒はすぐ順応した。

あとは教員が慣れるだけです」と、特別活動リーダーの小沢香絵教諭(45)。日本IBM

出身の横田由美子校長(57)は「学校の回線容量、個人の

端末の扱いなどの問題を早急に解決しながら今後に備えたい」と力を込めた。



二つの教室をつないで行った学級会(6月1日) 高田中提供